

声に満たされる秋

文=岩下真好 (音楽評論家)

彩の国さいたま芸術劇場は、今年の秋、珠玉の歌に彩られる。実力と人気を兼ね備えた日本音楽界の若きスター宮本益光が9月末に、そして10月末にはドイツ歌曲の第一人者として世界中に知られる白井光子が、それぞれリサイタルを開く。座席数600の音楽ホールで、二人の名歌手の歌を味わい尽くせるとは、なんという贅沢だろう。大きな会場とは異なり、このホールでは、どの席も特等席だ。どんなに繊細なピアノシモも、微妙なニュアンスも、間近で克明に聴き取ることができる。歌い手の表情や身振りも、はっきりと見て取れる。聴き手のひとりひとりが、等しく、耳と目で歌手をひとりじめできるのだ。これぞ至福の「楽興の時」だ。

白井光子はシューマンを歌う。もちろんピアノは、35年にわたってデュオを組んで、ドイツ歌曲の解釈を共に深めてきたハルトムート・ヘル。今、この分野で世界最高水準の演奏が期待できる。

今回のコンサートで取り上げられる《リーダークライス》作品39は、シューマンがドイツ・ロマン派の詩人アイヒェンドルフの詩12篇を選んで編んだ歌曲集で、現世を越えて恋人と永遠に結ばれることへの切なる憧れが全曲の底流をなしている。郷愁と他界した父母への愛惜、孤独と自然界の神秘、愛の高まりと幸福、夢と現実、別れと死。それらが交錯するうちに歌が進み、愛する人への永遠の恋慕へと結晶してゆく。この歌曲集の作曲当時、のちに妻となるクララとの恋愛を阻む障害との闘いを余儀なくされていたシューマンは、不安と愛の確信とのあいだに揺れる自身の思いを、アイヒェンドルフの詩篇に重ね合わせ、それらに歌の翼を与えていったのだ。シューマンは、クララに「ぼくが書いた最もロマンチックな音楽であり、きみがいっぱい出て来るのだよ」と書き送っている。

ドイツ歌曲は、歌詞として歌われる詩の言葉をとりわけ大切にすることにシューマンの歌曲は、音楽と詩とが渾然一体となって、ロマン的なファンタジーの世界を織り成してゆく。言葉のニュアンスや表情への繊細な感覚、美しい発音と発声、深みある表現と音色美といった諸点で他の追従を許さない白井の芳醇なメゾ・ソプラノに、表情豊かで感受性に富んだヘルピアノ。シューマンの歌曲にとって、これ以上理想的な組み合わせはない。

いっぽう宮本益光は、ドイツ・オペラのアリアや、武満徹の作品をはじめ日本の歌曲を歌う。オペラで男声役という、まずテノールを思い出しがちだが、渋くて男らしくて、ときには邪悪でニヒルであったりもして、じつは「カッコいい」のがバリトンの諸役だ。宮本は少し前にモーツァルトのオペラ《ドン・ジョヴァンニ》の主人公を歌って大きな注目を集めた。今回のコンサートでは、そうした危険な誘惑者の役ではなく、ワーグナーの《タンホイザー》のノブスな騎士、ヴォルフラムのアリア「流星の歌」を聴かせてくれる。プログラム中の大きな聴きものである。

オペラ《タンホイザー》の主な舞台は13世紀ドイツのヴァルトブルク城とその近郊の谷あい。妖艶な美女ヴェーヌスの誘惑に負けて道を踏み外した騎士タンホイザーを、清純な乙女エリーザベトが自分の命をかけて救済するという物語だ。ヴォルフラムはタンホイザーの友人で、友の回心を望んでいるが、密かにエリーザベトに好意を寄せてもいた。だが、タンホイザーを救うために死を覚悟したエリーザベトの深い思いを知って、そっと身を引き、星空に向かって、いずれ彼女が清らかな天使として天に受け入れられるよう祈願する。雄々しく心優しい騎士が歌い上げる憂愁と憧れと祈り。この「流星の歌」で、バリトンの声の魅力に酔い痴れることになるのは請け合いだ。歌詞の深い理解に長けた宮本の豊かな表現力にも心を打たれることだろう。



宮本益光

Masumitsu Miyamoto

東京芸術大学大学院修了。2003年《欲望という名の電車》スタンリー役で脚光を浴び、翌年には二期公演宮本亜門演出《ドン・ジョヴァンニ》に主演、絶賛された。創造性とエンターテインメントに溢れたステージで聴衆を魅了、テレビやラジオでも活躍している。オペラの日本語訳上演の研究や対訳を発表するなど多才ぶりを発揮。07年3月には自ら作詞した《あしたのうた》を含む新たなCD(加藤昌則作曲)をリリースした。二期会会員。



白井光子 (メゾソプラノ) & ハルトムート・ヘル (ピアノ)

Mitsuko Shirai & Hartmut Höll

白井光子 & ハルトムート・ヘルは「歌と伴奏」という概念を超えた「リートデュオ」としての活動を世界各地で行なって来た。今年2007年はデュオとして35周年を迎える。1996年には長年のリート歌手としての活動を評価され出光音楽大賞を受賞。その後もドイツ語の深い解釈と集中力でリートの世界を広げ魅了し続けている。06年3月には、その長年の功績と前年の《冬の旅》演奏が認められ、白井光子に05年度第56回芸術選奨文部科学大臣賞が贈賞された。

●●●●● MUSIC ●●●●●

宮本益光バリトン・リサイタル

【日時】9月30日(日) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【出演】加藤昌則 (ピアノ)

【曲目】山田耕筰:赤とんぼ (詞:三木露風) ワーグナー:歌劇《タンホイザー》より「流星の歌」
シューベルト:子守歌 (日本語詞:松本隆) 加藤昌則:《あしたのうた》全曲 (詞:宮本益光)
武満徹:小さな空 (詞:武満徹)

【チケット(税込)】好評発売中
一般 3,000円 学生1,000円 メンバース 2,700円

●●●●● MUSIC ●●●●●

白井光子 & ハルトムート・ヘル リートデュオ・リサイタル ~名歌手シュワルツコップに捧ぐ~

【日時】10月27日(土) 開演 15:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】シューマン:リーダークライス Op.39
女の愛と生涯 Op.42

【チケット(税込)】好評発売中
一般 4,000円 学生1,500円 メンバース 3,600円

ロシアの美しき新鋭が奏でる、詩情性溢れるロマンティシズムとダイナミズム



●●●●● MUSIC ●●●●●

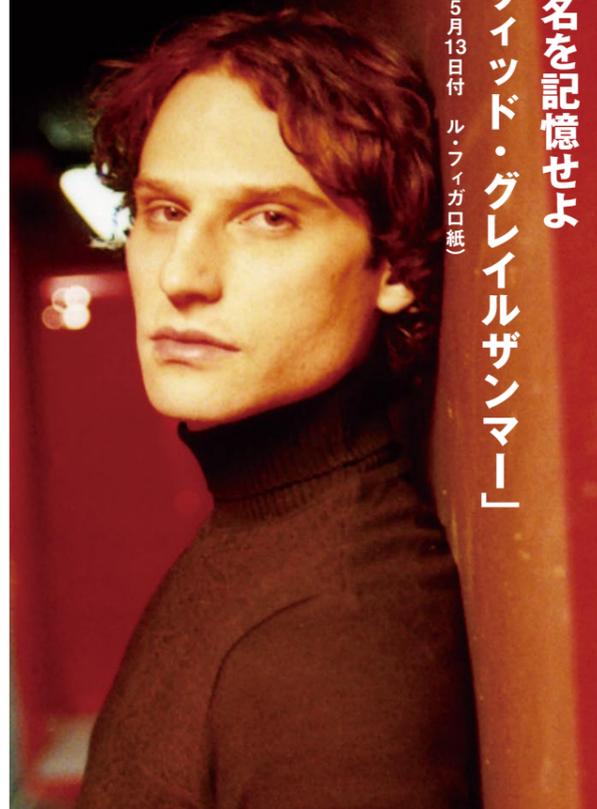
Vol.2 イリヤ・ラシュコフスキー

【日時】9月8日(土) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】シューベルト:4つの即興曲 Op.90 D899
ブラームス:バガニョーニの主題による変奏曲 Op.35
スクリャーピン:幻想曲 口短調 Op.28
ワーグナー=リスト:イゾルデの愛の死 (《トリスタンとイゾルデ》より)
バラード・紡ぎ歌 (《さまよえるオランダ人》より)
幻想曲 (《リエンツィ、最後の護民官》より)

【チケット(税込)】好評発売中
一般 S席3,500円 A席2,500円 学生A席1,000円 メンバース S席3,150円

ピアノ・エトワール・シリーズ



●●●●● MUSIC ●●●●●

Vol.3 デイヴィッド・グレイルザンマー

【日時】11月23日(金・祝) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】スウェーリンク:わが青春はすでに過ぎ去り
ケレン:ファンタジー、とはいえずつのファンタストロフ (日本初演)
モーツァルト:幻想曲 八短調 KV475
ヒナステラ:アルゼンチン舞曲 Op.2
リゲティ:《ムジカ・リチェルカータ》より 6つの楽章
モーツァルト:ピアノ・ソナタ第11番 イ長調 KV331 (3001)「トルコ行進曲付き」
グラナドス:《ゴイエスカス》恋をするマホたちより《愛と死 (バラード)》

【チケット(税込)】一般 S席3,500円 A席2,500円 学生A席1,000円 メンバース S席3,150円
【発売日】メンバース 7月21日(土) 一般 7月28日(土)

ランチタイム・コンサート

第2回 アンサンブルクララルテ (N響メンバーによる室内楽グループ)

【日時】9月4日(火) 開演 12:10 (終演予定12:50)
【会場】埼玉会館 大ホール

【出演】横山俊朗・宮里親弘 (ヴァイオリン) 小島茂隆 (ヴィオラ)
三戸正秀 (チェロ) 新納益夫 (コントラバス) 鈴木永子 (ピアノ)

【曲目】エルガー:愛の挨拶
マスカーニ:歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》同奏曲
J.シュトラウスII:ホルカ《狩》、アンネン・ホルカ、トリッチ・トラッチ・ホルカ
グリーグ:《2つの悲しい旋律》より《晩春》
チャイコフスキー:花のワルツ

【チケット(税込)】好評発売中 全席指定1,000円

●10月19日公演とのセット券
一般 S席6,500円 A席5,500円 B席4,500円
メンバース S席6,300円 A席5,400円 B席4,500円

第3回 新日本フィルハーモニー交響楽団

メンバーによる金管五重奏

【日時】12月21日(金) 開演 12:10 (終演予定12:50)
【会場】埼玉会館 大ホール

【出演】服部孝也・市川和彦(トランペット)
山口尚人(トロンボーン)
井手詩朗(ホルン)
佐藤和彦(チューバ)

【曲目】クリスマス・ソング・メドレー ほか

【チケット(税込)】全席指定1,000円
【発売日】メンバース 8月25日(土) 一般 9月1日(土)

村治奏一 ギター・リサイタル

【日時】7月19日(木) 開演 12:00 (終演予定13:00)
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】バリオス:ワルツ No.3 & No.4
ガーシュイン (鈴木大介 編曲) Shall We Dance?
アーレン (武満徹 編曲):オーバー・ザ・レインボウ
ジョーピン/モラエス (ティアンス 編曲):フェリシダーヂ
ボンファ(リマ、村治奏一 編曲):リオの散歩道
ボンセ:我が心よ君故に
タレガ:アルハンブラの想い出
イルマル:バーデン・ジャズ組曲
ティアンス:フォーコ

【チケット(税込)】好評発売中
全席指定1,000円
公演限定 [ヒストロヤマ] スペシャル・ランチ付 セット券 3,000円 (枚数限定)